

開山忌並びに 第二十九回育英会辞令交付式

善光寺開山忌、並びに第二十九回の横浜善光寺留学僧育英会辞令交付式が平成二十八年二月十二日午後二時から、釈迦殿で執り行われ、育英生に採用された中国からの留学生、花菜さん(34)に、育英会理事長の黒田博志住職から辞令、育英金と記念品が授与されました。

初めに開山・棟庵白純大和尚と二世中興大圓武志大和尚の追善法要が本寺の大田原市・光真寺ご住職、黒田泰弘老師を焼香師にお迎えして営まれ、関係のご寺院、総代をはじめ檀信徒の方々が読経・焼香しました。

引き続き辞令交付式に移り、育英会理事の安

藤嘉則老師(駒沢女子大学教授)が選定経過を報告しました。内モンゴル出身の花さんは、平成十五年に同朋大学に入学し、昨年三月に博士号を取得。近年はモンゴルにおける女性の信仰などについて研究しています。

安藤理事は「日本に来て様々な言語を学ぶうちにモンゴル人にとつての仏教とは何かということに目覚めた。今後とも日本で研鑽したものを世界に発信してほしい」と激励しました。

黒田住職の導師により育英会報告諷経が営まれ、辞令交付の後、花さんは「仏教の知識はまだ浅いが、これからも精一杯努力していきたい」と決意を込めて感謝の言葉を述べました。

開山忌の焼香師を務めた光真寺の黒田泰弘老師は「今年には先住様の十三回忌正當の年。皆さんが力を合わせて世界平和に向けて活動されている姿はまことに麗しい」と善光寺のさらなる発展を願い、益々の活躍に期待を寄せました。



辞令と記念品を手に 花栄さん



黒田住職は「私も師匠の『尽くして、尽くして、尽くし抜け』の言葉を胸に日々精進している最中です。世のため世界平和のために役立てるよう邁進して参ります」と挨拶した。

■海外留学僧育英会について

《曹洞宗神奈川県第二宗務所発行『所のたより』掲載（平成二十八年九月）》

育英会は善光寺の使命であり、理念

善光寺住職 黒田博志

善光寺では「横浜善光寺留学僧育英会」を檀信徒の皆様のご理解・ご協力のもとに行っております。この会は一九八四年に開創十五年を記念して師父大圓武志大和尚が設立。当時つぎのように育英会の設立趣意が示されております。

『いまや、人類は宇宙時代に入り、時間的にも空間的にもその距離は著しく短縮され、世界はあたかも一国の観を呈しております。反面人類はかつてない民族、宗教、イデオロギー、地球環境破壊、さらには恐慌に晒され、不安と絶

望の危機に見舞われております。これは明らかに現代社会の悲劇であり解決の糸口さえ見つからないでいるのです。

翻って今日ほど仏陀釈尊の教法宣布を必要とするときはありません。しかるにわが国は、世界最大の仏教国でありながら、仏教界は遺憾ながら世界の大勢に即応、教化の実を挙げる態勢に欠けているように思います。世界の中の日本、日本の中の仏教、仏教と私、その自分の存在を認識するとき唯あぐねているだけでは罪が深すぎます。

この時代に及んで私を省みて「どうする、どうしたらいい」。寺の開創時、私の信念は一体なんだったのか煩悶する。日本の仏教は社会参加、社会貢献、実践力に欠けているという、世界の非難を私は敢えて率直に甘受する。いま脚下を反省、懺悔しながらその使命と責任を果たすべく、開創時の原点基本に立ち還り出来ることを今やる。

しかし身辺を見ますと横浜の小さな寺、所詮、大は望めない。実現するには、「派遣の費用、いわゆる資金が必要」なんとしても多くの協力者が必要です。それも一年ではなく長期に亘りご協力ご支援が必要なのです。

一銭一草一口減らしを提唱し応えていただいたのです。それでもひとりでやれることは、あまりにも小さく限りある。だから衆知を集める必要がある。幸い趣意に賛同した檀家、檀信徒各方面から強力なご支援とご浄財が寄せられ設

立、漸く派遣できる目処が立ちました。

はかつて自らの信念に駆り立てられ、大本山永平寺僧堂安居を修し、その足で仏舎利奉拝日本一周行脚を敢行、さらには仏教の原点、インドに赴き仏蹟を巡拝、帰途タイバンコクに上座部仏教比丘として、九旬安居を修し、さらに渡米、ロスアンゼルス禅センターで二年間欧米人に開教師として参禅教化に努める。

この間いただいた尊い仏縁がその後の私の生き方と人間形成の土台となったことを覚えます。この尊い仏縁を若い人々にも経験してもらいたい。そして機会提供に精進したいという念願、それこそが私の育英会設立の根源であり、基本の動機目的であります。

仏天のご加護により「法輪転ずるところ、食輪おのずから転ぜられる」の教えに従い、海外留学僧派遣も制度として善光寺自力以って軌道にのせることができました」

と経緯、その趣旨を述べております。

以来師父は遷化するその年まで、実に二十一年間、一年と欠くることなく派遣と海外からの受け入れを行い、延べ百十六名に及ぶ留学僧の方々とご縁を結びました。いまや育英生の雄飛は世界規模となり、各国各界で大活躍しています。

二〇〇四年に師父遷化前、病床において、「いいか、博志。育英会は善光寺の使命であり、支柱である。お前の代になっても限りなく続けて欲しい。たとえ一人でもいい、頼むぞ」との言葉。

遷化後三年間、止む無く休会としておりましたが、檀信徒の方々をはじめ、留学僧の方々より再開を強く求められ、諸老師、諸先輩方、関係の皆様方に支えられ助けられて二〇〇八年に再開することが出来ました。再開後八年を経過し更に十四名の方々とご縁を結ぶ事が出来まし

た。(関係国二十四カ国二地域)

私自身は甚だ力不足で有りますが、師父が繋いでくださったご縁の方々のお陰で来年、育英会は三十回を迎えます。

この期に、宗務所さまより掲載のお話を賜りました。これも何かの導きかと受け止め恐縮ながら会の設立趣意を振り返り掲載させて頂きました。

今後とも所内の各諸老師方、諸先輩、青年会の皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



横浜善光寺留学僧育英会 採用育英生 集計

全130件（育英生全113名・継続16名・再1名）

関係国全24ヶ国及び2地域

2016.05.20現在

●派遣先16ヶ国（含日本）及び1地域

| 国名 | | 大学名・施設名/育英生(敬称略) | 新規 | 継続 | 合計 |
|--------|-----------|------------------|----|----|----|
| アジア | タイ | ワットパクナム | 15 | 2 | 17 |
| | | ワットサラディーン | 1 | 0 | 1 |
| | インド | マハチュラロンコン仏教大学 | 1 | 0 | 1 |
| | | カルカッタ大学 | 3 | 3 | 6 |
| | | マイソール大学 | 1 | 0 | 1 |
| | | プーナ大学 | 2 | 0 | 2 |
| | | マドラス大学 | 1 | 0 | 1 |
| | | デリー大学 | 1 | 0 | 1 |
| | スリランカ | ケラニア大学 | 2 | 1 | 3 |
| | | オープン大学 | 1 | 0 | 1 |
| | カンボジア | ナロム寺院 | 0 | 1 | 1 |
| 韓国 | 東国大学 | 1 | 0 | 1 | |
| 台湾 | ファクワング研究所 | 1 | 0 | 1 | |
| 南アメリカ | ブラジル | 参玄禅堂(ポルトアレグレ) | 1 | 0 | 1 |
| | | 新設禅センター | 1 | 0 | 1 |
| 北アメリカ | アメリカ | ロサンゼルス禅センター | 10 | 2 | 12 |
| | | ミネソタ禅センター | 1 | 0 | 1 |
| | | ニューヨーク禅センター | 3 | 1 | 4 |
| | | バレー禅堂 | 1 | 0 | 1 |
| | | 禅マウンテンセンター | 1 | 0 | 1 |
| | | カリフォルニア大学 | 1 | 0 | 1 |
| | | スタンフォード大学 | 1 | 0 | 1 |
| ヨーロッパ | イギリス | オックスフォード大学 | 1 | 0 | 1 |
| | | ケンブリッジ大学 | 2 | 1 | 3 |
| | | ロンドン大学 | 1 | 0 | 1 |
| | デンマーク | ライブチヒ大学 | 1 | 0 | 1 |
| | ドイツ | ハンブルグ大学 | 2 | 0 | 2 |
| | | ライデン大学 | 1 | 0 | 1 |
| | オランダ | | | | |
| | イタリア | 各所 | 1 | 0 | 1 |
| | フランス | | | | |
| | スイス | ローザンヌ大学 | 1 | 0 | 1 |
| オーストリア | ウィーン大学 | 1 | 0 | 1 | |

| 国名 | 大学名・施設名/育英生(敬称略) | 新規 | 継続 | 合計 |
|-----|------------------|-----|----|-----|
| 日本 | 駒澤大学 | 11 | 1 | 12 |
| | 愛知学院大学 | 9 | 0 | 9 |
| | 立正大学 | 6 | 0 | 6 |
| | 大正大学 | 2 | 1 | 3 |
| | 花園大学 | 3 | 0 | 3 |
| | 東京大学 | 4 | 1 | 5 |
| | 東洋大学 | 1 | 1 | 2 |
| | 仏教大学 | 1 | 0 | 1 |
| | 龍谷大学 | 1 | 0 | 1 |
| | 東北大学 | 1 | 0 | 1 |
| | 上智大学 | 1 | 0 | 1 |
| | 京都大学 | 1 | 0 | 1 |
| | 麗澤大学 | 2 | 0 | 2 |
| | 大菩薩禅堂 | 1 | 1 | 2 |
| | 大雄山最乗寺 | 1 | 0 | 1 |
| | 金沢大学 | 2 | 0 | 2 |
| | 京都万福寺 | 1 | 0 | 1 |
| | 武蔵野大学 | 1 | 0 | 1 |
| | 南山大学 | 1 | 0 | 1 |
| | 同朋大学 | 1 | 0 | 1 |
| その他 | 1 | 1 | 2 | |
| 合計 | 約50ヶ所 | 113 | 17 | 130 |

●育英生国籍 17ヶ国（含日本）及び2地域

アゼルバイジャン、バングラディッシュ、ブータン、
ウイグル自治区、ベトナム、スリランカ、日本、インドネシア、
マレーシア、ネパール、中国、タイ、韓国、台湾、アメリカ、
ブラジル、ポーランド、ドイツ、フランス

〔目的〕

仏教を修学する者のうち、学業操業ともに優秀にして身心堅固なものを海外に派遣し、または海外より日本国内に受け入れ、佛教の興隆、国家社会の進運に寄与し得る有為な人材を育成することを目的とする。

〔派遣先〕

1. Zen Center of Los Angeles (LA 禅センター)
"923 S.Normandy Ave., LA., CA90006U.S.A"
2. Zen Mountain Center of NewYork (NY 禅センター)
"Box197,Mt.Tramper,NY12547U.S.A"
3. Zen-Zentrum Eisenbuch (アイゼンバッハ・禅センター)
"Eisenbuch 7 D-84567Erlbach Deutchland Germany"
4. WatPaknam (ワットパクナム)
"Bhasichareon Bangkok, 10160 Thailand"
5. 理事会において必要と認めるその他の国に所在する研究機関、並びに国内仏教関係大学及び寺院

〔派遣期間〕

平成29年4月より1年間

〔給費〕

アメリカ・タイおよびその他の国における滞在に要する必要経費並びにその往復旅費

〔提出書類〕

1. 論文（次項による）
 - 論題
 - ①これからの国際興隆と仏教の役割
 - ②世界平和と仏教徒の誓願
 - ③留学僧として私はこれを学びたい
 - ④異文化の中で仏教を学ぶいずれか一題を選ぶこと 400字詰原稿
用紙5枚以上（A4判タテ書き）
2. 保証人と連署した願書
3. 卒業証明書
4. 履歴書
5. 推薦書
6. 健康診断書

〔募集人数〕

平成29年度若干名

平成28年12月10日、事務局必着のこと

〔発表〕

平成29年1月10日、本人に通知する

横浜善光寺留学僧育英会

〒234-0053 横浜市港南区日野中央1丁目12番9号
TEL.045-845-1371 FAX.045-846-2000

第 30 回 生

横浜善光寺 留学僧募集

平成29年度・2017

横浜善光寺留学僧育英会は、海外留学僧を募集いたします。

ご希望の方はご応募ください。

詳しくは、宗教法人横浜善光寺留学僧育英会の
規程ならびに細則をごらんください。



ZENKŌJI
YOKOHAMA